

食育活動で元気もりもり！  
〜菜園活動やクッキングを通して〜

庄内保育所



▲「大きなおいもになあれ」

庄内保育所では、幼児期に食への興味、関心を深めていくことが大切だと考え、それぞれの年齢で計画を立て、年間を通して食育活動を行っています。

4月には、皆が散歩で摘んだよもぎを使って、年長児がよもぎ団子を作り、おやつの時間に食べました。とても鮮やかな緑色の団子ができ、小さいクラスの子も喜んで食べていました。迎えに来られたお家の人に、「ひばり組さんが作ったんだよ。」と教えている姿も見られました。

6月には、年長児が中心となり、サツマイモや夏野菜の苗を植えました。少しずつ実っているミニトマト、



▲「きれいな色の団子になったよ」

ナス、ピーマンなどを年長児が毎日、数えながら収穫しています。成長している野菜を観察しながら「大きくなったね。」「だんだん色がついてきたね。」など友だちと楽しく会話をしている様子が見られます。8月には収穫した夏野菜を使ったピザ作りを行いました。

様々な体験活動を通して、自然の恵みとこのちの大切さに気づき、みんなで一緒に楽しく食べることで、将来にわたって元気な体づくりができるよう取り組んでいきたいと考えています。

令和2年度 第1回 おもと学級  
『イスに座ったまま  
できるストレッチ』

大山公民館



▲ふだん使わない筋肉を呼吸に合わせてゆっくりと伸ばします

7月27日、今年度初めてとなる「おもと学級」(大山公民館・高齢者学級)を大山農村環境改善センターで開講することができました。久しぶりの再会となった学級生は、マスク越しに笑顔が光り、仲間との出会いを喜んでおられました。

今回は、外出自粛で凝り固まった身体をほぐそうと、健康運動指導士の松田万里さんを講師に迎え、簡単ストレッチ体操を体験しました。

なかでも、タオルを使った体操は、テレビを見ながらでも楽にできると好評でした。

いい汗・いい笑顔！  
大山分館バレーボール大会



▲優勝した赤松チーム

7月19日、大山公民館大山分館で「第43回大山分館バレーボール大会」を行いました。出場は4チーム、トーナメント戦です。

今回は例年と違い、コロナ禍の中でのバレー大会でしたが、参加者一人一人が、しっかりと感染防止対策に努め、その中で楽しみながら、白熱した試合が繰り広げられました。

珍プレー・好プレーも続出し、笑顔の絶えない充実した時間となりました。大会結果は赤松チームが優勝、坊領Bチームが準優勝でした。